

令和4年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価概要（全体）

## 愛知県公共交通協議会

令和5年1月20日設置（愛知県バス対策協議会を改組）

地域間幹線系統 令和3年6月17日 確保維持計画策定

# 1.【Plan】協議会等が目指す地域公共交通の姿

## ○令和4年度愛知県地域間幹線系統確保維持計画

- ・愛知県バス対策協議会において、**64系統**を位置づけ。  
(令和3年度比1系統減)
- ・運営主体別では、**事業者が33系統、市町村が31系統**。
- ・交通圏別では、右表のとおり。

交通圏	系統数
名古屋	5
豊橋	8
岡崎	6
一宮	4
瀬戸・日進・豊明	10
東海・半田・大府・常滑・美浜	9
小牧・犬山・江南	2
津島・あま・弥富	2
刈谷・安城・碧南・西尾	15
豊田	13
新城	4

※複数交通圏に跨る系統は重複計上

## 【参考】あいち交通ビジョン（取組期間：R4～R8）との関連性

ビジョンでは、目指すべき姿を「危機を乗り越え、輝く未来へつなぐ あいちの交通 ～モビリティ先進県を目指して～」と掲げて、持続可能な交通ネットワークの構築に取り組んでいる。

### 施策の方向性

#### 〈検討の視点〉

持続可能な  
交通ネットワーク

利便性の高い  
交通サービス

愛知の強みを活かした  
交通とまちづくり

+

新型コロナウイルス感染症  
の影響を踏まえた今後の  
公共交通の在り方

1 まもる

2 たかめる

3 ひきつける

4 つなぐ

5 へらす

**地域の安全な移動手段を将来にわたって確保・維持し、県民生活を支える地域の足を「まもる」取組を進めます。**

リニア中央新幹線の開業効果を活かし、国際競争力を強化し、地域の活力を「たかめる」取組を進めます。

本県の活性化につながる国内外からの観光客を「ひきつける」取組を進めます。

魅力にあふれ、快適に暮らすことが出来るまちづくりに向け、人とまちを「つなぐ」取組を進めます。

脱炭素社会の実現を目指し、環境負荷を「へらす」取組を進めます。

## ○地域間幹線系統補助における要件緩和

令和3年度は、当初予算額を上限に下記の要件緩和を実施。（②、③は県独自）

- ①輸送量実績が15人を下回っても補助対象とする
- ②経常収益が経常費用の11/20未満の系統も補助対象とする
- ③密度カットは当初計画時のみなし運行回数で算定（従前は実績時の回数で算定）

上記要件緩和による結果

- ①・②により、30系統中9系統が補助対象外→補助対象に
- ③により、30系統中17系統に対して、補助額を増額
- ①～③により、総額51,529千円補助額を増額

## ○生活交通確保に向けた協議

廃止申し出のあった系統について、対応方策等を協議。

### 常滑南部（B）線（知多乗合(株)）

- ・常滑市は、無料コミュニティバス「グリーン」による市内バス路線の再編を計画し、重複する常滑南部（B）線のグリーンへの置き換えを検討
- ・当初計画では、美浜町内の上野間地区にかかる路線は廃止を予定していたが、代替手段がないため関係者間で協議を開始
- ・協議の結果、廃止予定であった上野間地区の路線は、グリーンにより維持されることとなり、運賃も無料化されたことから「旅客の利便を阻害しない」として合意

常滑南部（B）線  
常滑市民病院～上野間駅



## <その他公共交通活性化に関する主な取組>

### ○「あいち交通ビジョン」（取組期間：R4～R8）の策定

県の総合的な計画である「あいちビジョン2030」の個別計画として、2026年度までに取り組む施策の方向性を示すもの。

令和5年度末までに愛知県地域公共交通計画を策定することを取組指標の一つとして掲げている。

### ○MaaSの社会実装に向けた実証実験の実施

名古屋東部丘陵地域を中心に、令和4年9月～令和5年2月において、スマホアプリ「マイルート」を使った実証実験を実施。

### ○「あいち交通ビジョン」モデル事業の実施

令和4年2月に策定した「あいち交通ビジョン」の具体的な施策展開を図るモデル事業として、半田市、常滑市、知多乗合(株)、沿線施設と連携して、広域的・幹線的なバス路線の利用促進を図るため、「冬休みは半田・常滑へバスでおでかけキャンペーン」を開催



対象施設	対象施設	対象施設	対象施設
1 半田市立図書館	2 半田市立博物館	3 半田市立美術館	4 半田市立生涯学習センター
5 半田市立体育館	6 半田市立市民会館	7 半田市立市民センター	8 半田市立市民ホール
9 半田市立市民会館	10 半田市立市民センター	11 半田市立市民ホール	12 半田市立市民会館
13 半田市立市民センター	14 半田市立市民ホール	15 半田市立市民会館	16 半田市立市民センター
17 半田市立市民ホール	18 半田市立市民会館	19 半田市立市民センター	20 半田市立市民ホール

## <地域間幹線系統の評価>

### ○評価指標の設定

把握しやすく取組の成果がイメージしやすい年間利用者数を目標に設定

### ○評価指標の達成状況等

#### ≪ 幹線系統全体の利用者数及び対前年推移別系統数 ≫

R4年度	R3年度	増減率
4,566,188人	4,488,921人	1.7%増

利用者の増減区分	系統数
増加 (105%~)	34 (6)
横ばい (95~105%未満)	14 (24)
小幅減 (80~95%未満)	6 (21)
大幅減 (80%未満)	7 (11)

※新規系統を除く。カッコ書きは前年の数値。

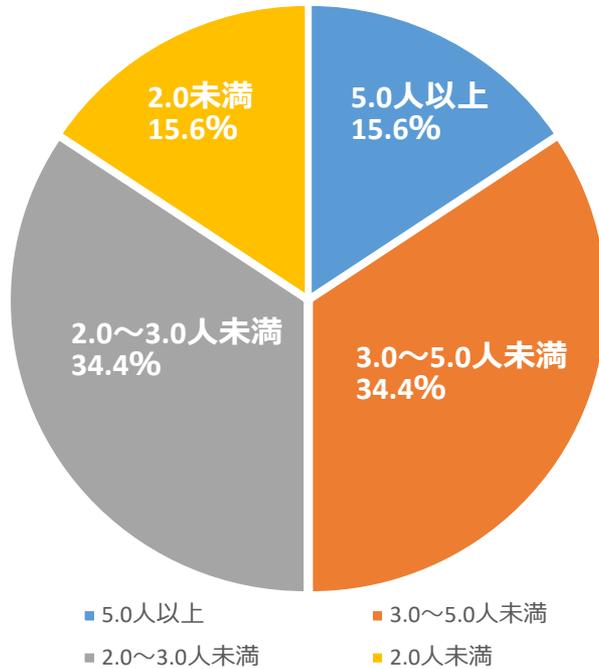
#### ≪ 目標実績別評価系統数 ≫

A評価	増加 (100%~)	37 (5)
B評価	減少 (75~100%未満)	21 (40)
	減少 (50~75%未満)	6 (19)
C評価	半数減 (50%未満)	0 (1)

※カッコ書きは前年の数値。

- ◇前年度4.8%減だった幹線系統全体の利用者は、1.7%増となったが、全体の利用者数に顕著な回復傾向は見られない。
- ◇ただし、路線ごとに見ると、増加が34系統、横ばい、減少が27系統となり、コロナ禍からの回復が見られる系統と、回復が見られない、又はさらに悪化した系統への2極分化が進んでいる。
- ◇前年度に比べ2割以上減少した7系統のうち豊橋交通圏に4系統、新城交通圏に1系統、両交通圏に跨るもの1系統と、東三河地域に集中している。

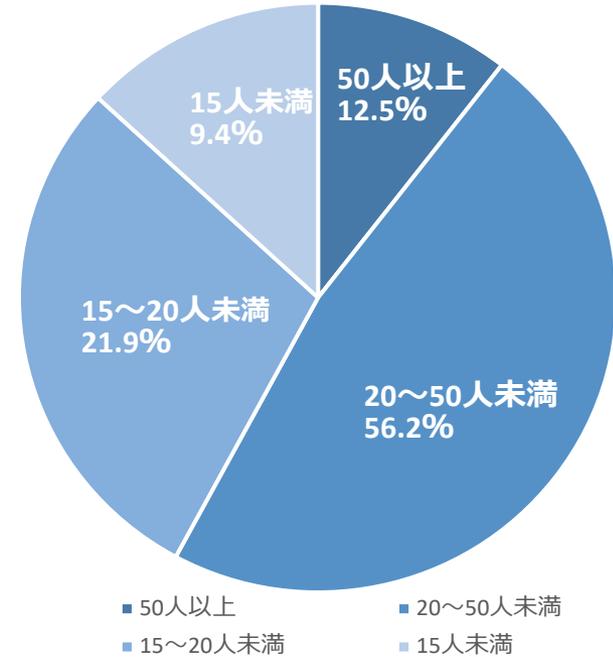
系統別平均乗車密度



系統別平均乗車密度	
5.0(人)以上	10(7)
3.0~5.0(人)未満	22(30)
2.0~3.0(人)未満	22(17)
2.0(人)未満	10(11)

※カッコ書きは前年の数値

系統別輸送量分布



系統別輸送量	
50(人/日)以上	8(9)
20~50(人/日)未満	36(38)
15~20(人/日)未満	14(8)
15(人/日)未満	6(10)

※カッコ書きは前年の数値

## <地域間幹線系統の確保・維持に関する課題>

- 新型コロナウイルスの影響による利用者の減少から、一定程度回復が見られる系統があるものの、さらに大きく減少した系統もあり、2極化が進んでいる。
- 輸送実績がさらに減少した系統は、東三河地域に集中しており、新型コロナウイルスの影響による減少だけでなく、人口減少の影響も大きいと思われる。
- こうした系統については、今までどおりの維持ではなく、路線の再編、異なる交通モードへの転換、新たに創設されるエリア一括で複数年化された支援制度の活用などの検討が必要

## <対応方針>

### ◆愛知県地域公共交通計画の策定

- 「あいち交通ビジョン」では、令和5年度末までに愛知県地域公共交通計画を策定予定としており、令和5年1月20日に、「愛知県バス対策協議会」を改組し、活性化再生法に基づく法定協議会として「愛知県公共交通協議会」を設置した。
- 計画に位置付ける地域間幹線系統の検討を通して、県と市町村との役割分担の明確化を進める。

### ◆関係者間による情報共有・連携の促進

- 尾三地区広域公共交通推進会議、田口新城線活性化検討会、市町村地域公共交通会議など、様々な機会を通じて情報共有を図り、連携を促進する。
- 継続して、輸送実績が低い系統を中心に、運行事業者・沿線市町村との意見交換を実施し、並行路線も含めた路線網の見直しや利用促進策を検討。
- 広域的、幹線的なバス路線の利用促進を図るため、モデル路線を選定し、沿線市町村、関係事業者と連携して利用促進策を実施する。

年度	二次評価結果	事業評価結果の反映状況 (具体的対応内容)	今後の対応方針
前回	新型コロナウイルスの影響により減収となっている地域間幹線系統について、確保維持に向けた支援を行ったことを確認	地域間幹線系統補助について、国の要件緩和を踏まえ、予算の範囲内で要件緩和を実施した。	新型コロナウイルスの影響を注視し、必要な支援策を検討
	輸送量の低下が顕著な地域間幹線系統について、生活交通確保に向けたヒアリングを行ったことを評価	県独自の事業評価票を用い、全ての地域間幹線系統について、路線の状況について関係者間の認識を共有した。	引き続き事業評価票を活用し、関係者の意思疎通を図る。
	維持が危ぶまれる地域間幹線系統について、利用促進や系統維持に向けた関係事業者や沿線自治体等と連携した取り組みを実施	令和4年2月に策定した「あいち交通ビジョン」のモデル事業として、半田市、常滑市と連携して、利用促進キャンペーンを実施	実施結果を取りまとめ分析、令和5年度のあいち交通ビジョンフォローアップ会議で報告
	地域公共交通計画の策定に向けて市町村との役割分担を明確にし、持続的な地域公共交通ネットワークの構築に向けて検討	従来の愛知県バス対策協議会を改組し、活性化再生法上の法定協議会として、愛知県公共交通協議会を設置した。	計画策定に向けて協議を進める中で、市町村計画に委ねる系統の整理、時期について検討を進める。
前々回	新型コロナウイルス感染症に関する公共事業者に対し、感染防止対策や運行継続に向けた支援を行ったことを評価。	地域間幹線系統補助について、国の要件緩和を踏まえ、予算の範囲内で要件緩和を実施。中小企業者等応援金制度を創設。	新型コロナウイルスの影響を注視し、必要な支援策を検討。バス・タクシー事業者に対する燃油価格高騰対策支援を実施。
	輸送実績で15人割れとなっている系統、平均乗車密度が極めて低い系統について、協議会として詳細な分析を進めるとともに、運行事業者、沿線自治体など関係者と協働して具体的な改善策を検討すること。	輸送実績が低い系統について、運行事業者及び沿線市町村と維持・利用促進のあり方などについて意見交換を実施。新型コロナウイルスの影響により監視対象の系統が増え、かつ利用者回復の可否判断がしづらい状況であるため、改善策の検討に至っていない。	新型コロナウイルスの影響による利用者及び収入の減少の状況を見つ、回復に向けた意見交換を継続して実施。併せて、コミュニティバスも含めた路線網の見直しや利用促進策の検討を促進。
	協議会として地域間幹線系統に係る方針・考え方を整理し、それに基づいて計画の位置づけや事業の実施をすること。	系統分析シートを活用し、事業者と沿線市町の意思疎通を図り、協働を促進。新型コロナウイルスの影響はあるが、必要最低限の減便や沿線市町の補填によって路線維持されていることを確認。	新型コロナウイルスの影響による減収や燃料高騰による経費の増加など、系統・交通圏ごとの現況・課題を整理する。引き続き系統分析シートを活用し、関係者の意思疎通を図る。
	地域公共交通の確保・維持に向けては、地域公共交通計画における位置づけが重要であるため、必要に応じて圏域で作成いただくか、現在計画がない市町村への対応を検討すること。	各圏域の状況を勘案し、今後、県として地域公共交通計画を策定することを決定。	計画策定に向けて、市町の地域公共交通計画との整合性や、地域間幹線系統に対する支援のあり方も含めて検討する。 (R4年度中に着手、R5年度末までに策定予定)

※前回：令和4年2月17日、前々回：令和3年2月15日

## <協議会の実施状況>

### ◆令和4年度第1回愛知県バス対策協議会幹事会

日時：令和4年6月16日（木） 午前10時30分から

議題：①令和5年度地域間幹線系統への位置付け申し出路線に係る対応案について  
②令和5年度愛知県地域間幹線系統確保維持計画の策定について

### ◆令和4年度第2回愛知県バス対策協議会幹事会

日時：令和4年8月17日（水） 午前10時30分から

議題：①「令和4年10月1日付け廃止」申し出路線に係る対応（案）について  
②令和4年度地域間幹線系統確保維持計画に係る変更について  
③令和5年度地域間幹線系統確保維持計画に係る変更について

### ◆令和4年度第3回愛知県バス対策協議会幹事会（書面開催）

日時：令和4年9月7日（水）

議題：①令和5年度地域間幹線系統確保維持計画に係る変更について（知多乗合）  
②令和5年度地域間幹線系統確保維持計画に係る変更について（ふれんどバス）

### ◆令和4年度第4回愛知県バス対策協議会幹事会

日時：令和5年1月20日（金） 午後1時30分から

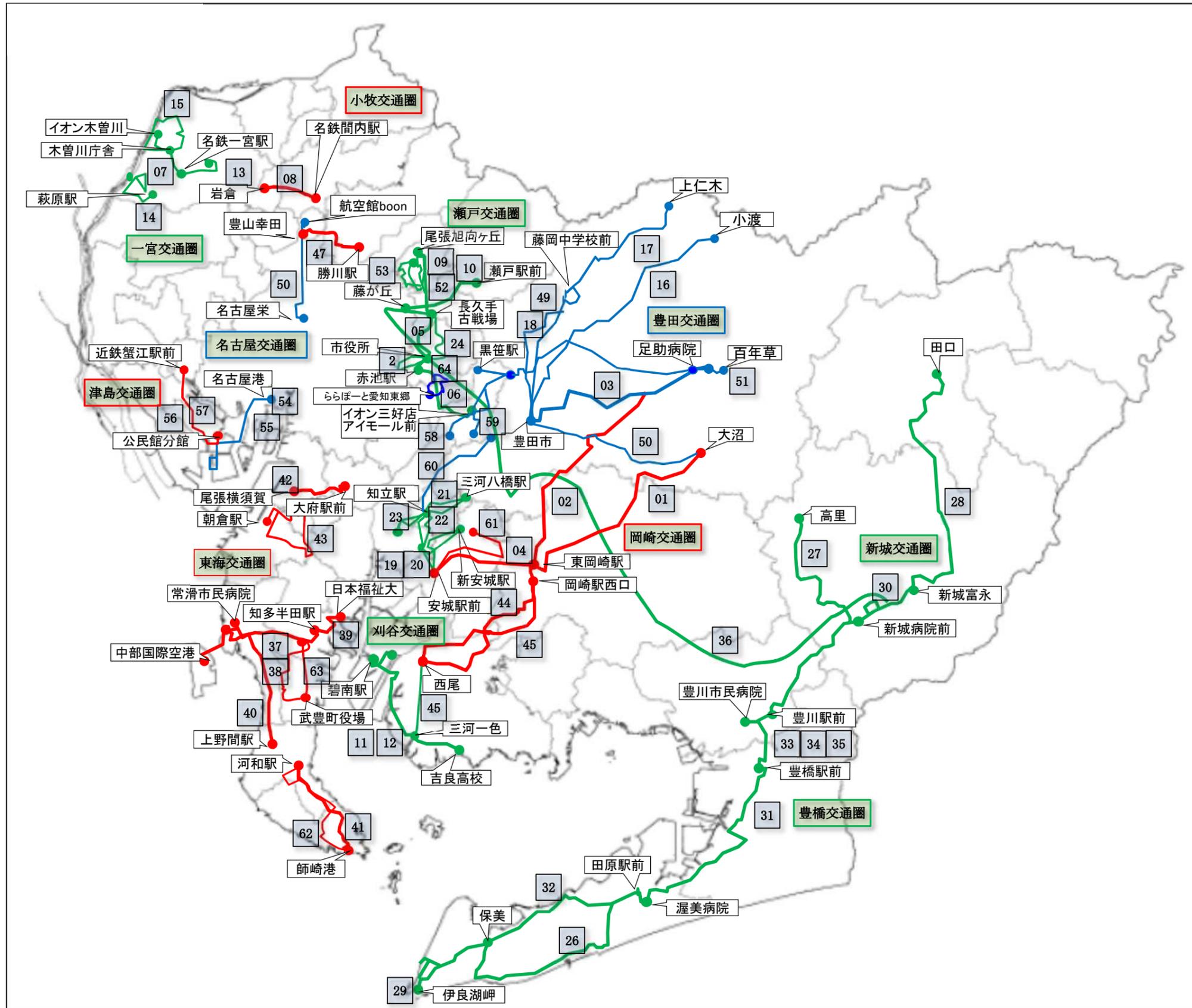
議題：①令和4年度地域間幹線系統確保維持計画に係る事業評価について  
②中運局公示第240号「道路運送法施行規則第15条の4第3号の規定に基づく「旅客の利便を阻害しない場合」」の一部改正について

### ◆令和4年度第1回愛知県バス対策協議会

日時：令和5年1月20日（金） 午後2時30分から

議題：①令和4年度第4回愛知県バス対策協議会幹事会の協議事項の承認について  
②愛知県公共交通協議会（仮称）の設置について

# 令和4年度 愛知県 地域間幹線系統路線一覧



交通圏	番号	系統名	輸送量	
01名古屋	48	タウンバス(南ルート)	23.6	
	54	飛島公共交通バス(名港線①)	28.8	
	55	飛島公共交通バス(名港線②)	14.4	
02豊橋	26	伊良湖支線(福祉C堀切)	15.2	
	29	伊良湖本線(渥美病院休暇村明神)	26.0	
	30	新豊	27.0	
	31	伊良湖本線(豊橋保美)	18.9	
	32	伊良湖本線(渥美病院田原駅前保美)	25.5	
	33	豊川(豊川駅前)	15.3	
	34	豊川(豊川市民病院豊川駅前)	34.8	
03岡崎	01	大沼	15.6	
	02	岡崎・足助	30.0	
	04	岡崎・安城	18.4	
	44	岡崎・西尾(青野)	46.9	
	45	岡崎・西尾(西尾市民病院)	33.3	
04一宮	07	一宮・イオン木曾川	25.2	
	13	iーバス(一宮コース)	29.8	
	14	iーバス(尾西南コース)	31.2	
	15	iーバス(木曾川・北方コース)	11.4	
	05瀬戸・日進・豊明	05	日進中央	63.0
06東海・半田・常滑・美浜	06	星ヶ丘・豊田	16.9	
	09	愛知医科大学病院	16.2	
	10	本地ヶ原	34.0	
	24	ぐるりんばす(梅森線)	12.8	
	25	ぐるりんばす(五色園線)	18.8	
	52	尾張旭市営バス(東ルート)	64.9	
	53	尾張旭市営バス(西ルート)	77.0	
	64	じゅんかい君(北コース)	33.5	
	37	半田・常滑(A)	10.5	
	38	半田・常滑(D)	24.0	
07小牧・犬山・江南	39	半田・常滑(N)	28.8	
	40	常滑南部(B)	23.0	
	41	師崎	33.5	
	42	横須賀(A)	43.7	
	43	あいあいバス(北部循環コース)	23.5	
	62	海っ子バス(豊浜線)	24.0	
	63	ゆめころん(赤ルート)	48.6	
	08津島・あま・弥富	08	岩倉	13.2
	47	豊山幸田・勝川	36.3	
	09刈谷・安城・碧南・西尾	56	飛島公共交通バス(蟹江線①)	69.5
57		飛島公共交通バス(蟹江線②)	16.1	
11		ふれんどバス①	44.1	
12		ふれんどバス②	41.8	
19		あんくるバス(西部線)	46.9	
21		ミニバス(2コース)	17.8	
22		ミニバス(3コース)	54.0	
23		ミニバス(4コース)	19.6	
20		あんくるバス(作野線)	47.6	
45		一色	33.2	
10豊田	03	矢並	44.0	
	16	おいでんバス(旭・豊田線)	28.3	
	17	おいでんバス(小原・豊田線)	59.3	
	18	おいでんバス(藤岡・豊田線(西中山経由))	43.3	
	49	おいでんバス(藤岡・豊田線(加納経由))	36.9	
	50	おいでんバス(下山・豊田線)	73.0	
	51	おいでんバス(さなげ・足助線)	68.0	
	58	さんさんバス(拠点連携線)	36.8	
	59	さんさんバス(三好黒笹線)	46.5	
	60	高岡ふれあいバス(路線②)	31.9	
11新城	27	作手	18.6	
	28	新城上平井田口	12.4	
	36	新城名古屋藤が丘	16.2	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（生活交通確保維持改善計画に基づく事業）

令和5年1月31日

協議会名：愛知県バス対策協議会

評価対象事業名：陸上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業（地域間幹線系統）

交通圏	①補助対象事業者等		②事業概要		③前回（又は類似事業）の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況						⑥複数市町村を跨ぐ系統/幹線系統としての役割	⑦事業の今後の改善点（特記事項を含む）				
	運営主体	運行事業者	No.、系統名	運行区間			【計画目標指標：利用者数】 A：達成 B：未達成 C：目標の半数にも満たず	輸送量(人)			収支率(%)							
								R4計画	R4実績	平均乗車密度	運行回数	R3実績			R4実績			
01名古屋	豊山町	あおい交通(株)	48	タウンバス(南ルート)	航空館boon(豊山町)～名古屋栄(名古屋市)	・公共交通マップを転入者へ配布 ・転入者用冊子へ交通エコライフの記事掲載	A	目標：57,500 実績：50,336 達成率：87.5%	B	移動制限が緩和されたが、生活様式の変化に伴い移動自体が減少したため、目標達成には至らなかった	24.7	23.6	2.0	10.5	32.0	28.3	市町を跨いでの利用が大半を占め、広域的な路線の役割を果たしている。豊山町民の名古屋市への利用の他、名古屋市民の豊山町への通勤利用がある。豊山町内または名古屋市内のみ利用はほとんどない。	・あらゆる機会を用いてPRの実施 ・利用者ニーズに対応した改善や見直し ・交通エコライフの取組推進
01名古屋 08津島・あま・弥富	飛島村	三重交通(株)	54	飛島公共交通バス(名港線①)	名古屋港～名古屋港(循環)	・新型コロナウイルス感染防止対策の周知 ・ICカード導入について飛島村HPに掲載 ・転入者用冊子へ交通エコライフの記事を掲載	A	目標：61,000 実績：46,261 達成率：75.8%	B	新型コロナウイルスの影響による通勤利用者の減	33.1	28.8	4.0	7.2	35.5	34.4	臨海地域の企業従業員及び訪問者は、飛島村以外からの通勤者・訪問者がほとんどである。地下鉄「名古屋港駅」「築地口駅」あおなみ線「福永駅」とを結び、広域的な路線の役割を果たしている。名古屋市から飛島村への通勤手段として利用されている。	・イオンモール茶屋店へ経由する便を検討 ・交通系ICカードについて広報等で周知 ・交通エコライフの取組推進
01名古屋 08津島・あま・弥富	飛島村	三重交通(株)	55	飛島公共交通バス(名港線②)	公民館分館～名古屋港	・新型コロナウイルス感染防止対策の周知 ・ICカード導入について飛島村HPに掲載 ・転入者用冊子へ交通エコライフの記事を掲載	A	目標：48,800 実績：35,435 達成率：72.6%	B	新型コロナウイルスの影響による通勤利用者の減	18.0	14.4	3.2	4.5	32.8	31.8	臨海地域の企業従業員及び訪問者は、飛島村以外からの通勤者・訪問者がほとんどである。地下鉄「名古屋港駅」「築地口駅」あおなみ線「福永駅」とを結び、広域的な路線の役割を果たしている。名古屋市から飛島村への通勤手段として利用されている。	・イオンモール茶屋店へ経由する便を検討 ・交通系ICカードについて広報等で周知 ・交通エコライフの取組推進
02豊橋	豊鉄バス(株)	豊鉄バス(株)	26	伊良湖支線(福祉C堀切)	渥美病院～保美	・「運美営業所見学」の実施 ・利用促進パンフレットの作成、配布 ・夏休み小学生50円バスの実施 ・東三河バス整理券判-＆謎解きゲームを実施 ・田原市内高校生への定期券購入助成を実施 ・福祉回数券等の交付 ・免許返納者へ豊鉄バス元気バス引換券の交付 ・広報紙、イベントで利用促進のPR	A	目標：43,328 実績：34,370 達成率：79.3%	B	新型コロナウイルス感染症の影響により乗務員の確保が困難となったため、令和4年8月の平日を土休日ダイヤにて運行したが、それ以外は、補助対象期間の開始日からやむを得ない場合を除き、運休や大幅な遅延もなく、所定の事業計画どおりの運行が実施されている。	21.0	15.2	1.9	8.0	30.5	25.3	旧市町村を跨いでの利用が利用者のほとんどを占め、広域的な路線の役割を果たしている。利用者は、起点にある渥美病院への通院や田原駅への鉄道利用者や沿線高校への通学利用が大部分と考えられる。	・バスロケーションシステムのPR ・田原市内高校生への定期券購入助成の継続 ・中学生にパンフレット配布
02豊橋	豊鉄バス(株)	豊鉄バス(株)	29	伊良湖本線(渥美病院 休暇村明神)	渥美病院～伊良湖岬	・「運美営業所見学」の実施 ・利用促進パンフレットの作成、全戸配布 ・夏休み小学生50円バスを実施 ・東三河バス整理券判-＆謎解きゲームを実施 ・田原市内高校生への定期券購入助成 ・福祉回数券等の交付 ・免許返納者へ豊鉄バス元気バス引換券の交付 ・広報紙、イベントで利用促進のPR	A	目標：71,513 実績：58,525 達成率：81.8%	B	補助対象期間の開始日から、やむを得ない場合を除き、運休や大幅な遅延もなく、所定の事業計画どおりの運行が実施されている。	35.7	26.0	2.5	10.4	40.9	32.1	旧市町村を跨いでの利用が利用者のほとんどを占め、広域的な路線の役割を果たしている。利用者は、起点にある渥美病院への通院や田原駅への鉄道利用、沿線高校への通学利用が大部分と考えられるほか、日中は高齢者の田原市街地での買い物で利用されている。	・バスロケーションシステムのPR ・田原市内高校生への定期券購入助成の継続 ・中学生にパンフレット配布
02豊橋 11新城	豊鉄バス(株)	豊鉄バス(株)	30	新豊	豊橋駅前～新城富永	・複合行政施設オープンの記念きっぷを発売 ・「豊橋まちなかおかけきっぷ」を発売 ・地域密着型の時刻表を配布 ・夏休み小学生50円バスを実施 ・東三河バス整理券判-＆謎解きゲームを実施 ・コミュニティマップ及びHPに時刻表を掲載 ・マイバス時刻表を実施	A	目標：116,679 実績：104,779 達成率：89.8%	B	新型コロナウイルス感染症の影響により必要な乗務員の確保が困難となったため令和4年8月の平日を土休日ダイヤにて運行したが、それ以外、補助対象期間の開始日からやむを得ない場合を除き、運休や大幅な遅延もなく、所定の事業計画どおりの運行が実施されている。	31.9	27.0	3.0	9.0	39.7	32.0	市域を跨いでの利用が利用者の約1/4を占め、広域的な路線の役割を果たしている。利用者は、豊橋市、豊川市相互間の通勤利用、買い物や豊川市民病院への通院利用が大部分と考えられるほか、新城市から乗り換えして豊川市民病院や大型商業施設へ行くことができる路線であるため、通院や買い物に利用されている。	・大型商業施設開業に合わせた路線等再編 ・バスロケーションシステムのPR ・大規模商業施設開業時の公共交通利用啓発 ・MaS推進による利便性の向上 ・継続するフィーダー系統のダイヤ改正

交通圏	①補助対象事業者等		②事業概要		③前回（又は類似事業）の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況						⑥複数市町村を跨ぐ系統/幹線系統としての役割	⑦事業の今後の改善点（特記事項を含む）	
	運営主体	運行事業者	No.、系統名	運行区間			【評価目標指標：利用者数】 A：達成 B：未達成 C：目標の半数にも満たず	輸送量(人)			収支率(%)				
								R4計画	R4実績	平均乗車密度	運行回数	R3実績			R4実績
02豊橋	豊鉄バス(株)	豊鉄バス(株)	31	伊良湖本線(豊橋保美)	豊橋駅前～保美	A	B	26.4	18.9	2.4	7.9	35.8	28.5	旧市町を跨いでの利用が利用者の半数以上を占め、広域的な路線の役割を果たしている。利用者は、運美病院への通学や豊橋駅、田原駅への鉄道利用、沿線高校への通学利用が大部分と考えられるほか、日中は高齢者の田原市街地での買い物で利用されている。	・バスロケーションシステムのPR ・Maas推進による利便性の向上 ・田原市内高校生への定期券購入助成の継続 ・中高生にパンフレット配布
02豊橋	豊鉄バス(株)	豊鉄バス(株)	32	伊良湖本線(渥美病院)	渥美病院～保美	A	A	25.2	25.5	3.7	6.9	72.1	52.0	旧町を跨いでの利用が利用者の多くを占め、広域的な路線の役割を果たしている。利用者は、拠点にある運美病院への通学や田原駅への鉄道利用、沿線高校への通学利用が大部分と考えられるほか、日中は高齢者の田原市街地での買い物で利用されている。	・バスロケーションシステムのPR ・田原市内高校生への定期券購入助成の継続 ・中高生にパンフレット配布
02豊橋	豊鉄バス(株)	豊鉄バス(株)	33	豊川(豊川駅前)	豊橋駅前～豊川駅前	A	A	16.2	15.3	2.7	5.7	48.6	47.9	市域を跨いでの利用が利用者の約3割を占め、広域的な路線の役割を果たしている。利用者は、豊橋市、豊川市相互間の通勤利用者が大部分と考えられる。主に豊橋市・豊川市への通勤、買い物、通院などの移動手段として住民の生活の足として利用されている。	・大型商業施設開業に合わせた路線等再編 ・バスロケーションシステムのPR ・大規模商業施設開業時の公共交通利用啓発 ・Maas推進による利便性の向上 ・接続するフィーダーシステムのダイヤ改正
02豊橋	豊鉄バス(株)	豊鉄バス(株)	34	豊川(豊川市民病院)	豊橋駅前～豊川駅前	A	A	39.0	34.8	2.7	12.9	52.7	45.9	市を跨いでの利用が利用者の約3割を占め、広域的な路線の役割を果たしている。利用者は、豊橋市、豊川市相互間の通勤・通院利用者が大部分と考えられる。豊橋市・豊川市への通勤、買い物、通院などの移動手段として住民の生活の足として利用されている。	・大型商業施設開業に合わせた路線等再編 ・バスロケーションシステムのPR ・大規模商業施設開業時の公共交通利用啓発 ・Maas推進による利便性の向上 ・接続するフィーダーシステムのダイヤ改正
02豊橋	豊鉄バス(株)	豊鉄バス(株)	35	豊川(豊川市民病院)	豊橋駅前～豊川市民病院	A	B	23.0	15.1	2.8	5.4	66.9	48.6	市を跨いでの利用が利用者の3割を超え、広域的な路線の役割を果たしている。利用者は、豊橋市、豊川市相互間の通勤・通院・買い物利用者が大部分と考えられる。主に豊橋市・豊川市への通勤、買い物、通院などの移動手段となっており、住民の生活の足として利用されている。	・大型商業施設開業に合わせた路線等再編 ・バスロケーションシステムのPR ・大規模商業施設開業時の公共交通利用啓発 ・Maas推進による利便性の向上 ・接続するフィーダーシステムのダイヤ改正
03岡崎 10豊田	名鉄バス(株)	名鉄バス(株)	1	大沼	名鉄東岡崎駅～岡崎北高前～大沼	A	A	17.3	15.6	2.8	5.6	20.4	29.0	両市を跨ぐ利用者の内訳は、通勤4.8%、通学0.0%、高齢者74.7%、定期外95.2%となっている。東岡崎駅の利用者、中心市街地への買物等のための利用者が大部分と考えられる。市町村を跨いでの利用者数は、13%（昨年度+6%）になった。豊田市から岡崎市への移動手段として一定の役割を果たしている。	・HP、スマホでの時刻検索 ・バスロケーションシステムの提供 ・コンテンツプロバイダへのデータ提供 ・高齢者用定期券の積極的なPR ・岡崎市公共交通マップの作成、配布 ・感染対策等の安全性の周知 ・豊田市バスマップへの掲載 ・みちなびとよたへの掲載
03岡崎 10豊田	名鉄バス(株)	名鉄バス(株)	2	岡崎・足助	名鉄東岡崎駅～細川～足助	A	A	28.8	30.0	3.8	8.0	35.8	37.6	両地区を跨ぐ利用者の内訳は、通勤22.2%、通学17.8%、高齢者74.7%、定期外28.9%となっており高齢者の比率が高い。東岡崎駅の利用者、通学、通院、買物等のための利用者が大部分と考えられる。沿線学校への通学利用のほか、香嵐渓への観光目的の利用もある。両市を跨ぐ幹線系統として重要な役割を果たしている。	・HP、スマホでの時刻検索 ・バスロケーションシステムの提供 ・コンテンツプロバイダへのデータ提供 ・高齢者用定期券の積極的なPR ・岡崎市公共交通マップの作成、配布 ・豊田市バスマップへの掲載 ・みちなびとよたへの掲載

交通圏	①補助対象事業者等		②事業概要		③前回（又は類似事業）の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況						⑥複数市町村を跨ぐ系統/幹線系統としての役割	⑦事業の今後の改善点（特記事項を含む）			
	運営主体	運行事業者	No.、系統名	運行区間			【計画目標指標：利用者数】 A：達成 B：未達成 C：目標の半数にも満たず	輸送量(人)			収支率(%)						
								R4計画	R4実績	平均乗車密度	運行回数	R3実績			R4実績		
03岡崎 09刈谷・安城・碧南・西尾	名鉄バス(株)	名鉄バス(株)	4	名鉄東岡崎駅 ～ 矢作橋 ～ JR安城駅	・HP、スマホでの時刻検索システム提供 ・バスロケーションシステムの提供 ・コンテンツプロバイダへのデータ提供 ・岡崎市公共交通マップの作成・配布 ・高齢者バスに対して補助金の交付 ・時刻表、マップ、活用ガイドを作成・配布	A	計画どおり運行が実施された。	A	目標：38,655 実績：43,020 達成率：111.3%  コロナと共存する新しい生活様式が定着しつつあるため。	18.4	18.4	1.5	12.3	21.0	24.7	両地区を跨ぐ利用者の内訳は、通勤0.0%、通学7.4%、高齢者74.7%、定期外88.9%となっている。東岡崎駅、安城駅の利用者、沿線病院への通院、中心市街地への買物移動による利用者が大部分と考えられる。直近の利用状況調査では、安城市から東岡崎駅や岡崎市中心市街地周辺への利用が多い。	・Googleマップへの路線情報反映 ・HP、スマホでの時刻検索 ・バスロケーションシステムの提供 ・コンテンツプロバイダへのデータ提供 ・高齢者用定期券の積極的なPR ・岡崎市公共交通マップ等の作成・配布 ・感染対策等の安全性の周知 ・運行事業者と連携した利用促進 ・観光施策等と連携した利用促進
	03岡崎 09刈谷・安城・碧南・西尾	名鉄東部交通(株)	44	東岡崎(藤田医大) ～ 下青野 ～ 西尾	・R4.4.1にダイヤ改正実施 ・バス東地区チャイソコ運行への協力 ・経路検索事業者に駅探を追加 ・公共交通マップの作成・配布 ・デマンド型乗合タクシーでの乗継割引 ・コロナ禍での安心安全なバス利用のPR ・月3,000円の「スクールバス」を発行	B	12月14日に東岡崎発西尾行ゆきにおいて、戸崎町バス停を早発、12月17日に西尾発藤田医大ゆきにおいて井内農協前バス停を通過したことが判明したため、それぞれ該当便を運休とした。	B	目標：133,200 実績：121,244 達成率：91.0%  コロナの影響がまだ残っているほか、利便性の向上した市民病院系統に比べた可能性も考えられる。	52.1	46.9	2.9	16.3	46.6	45.1	東岡崎駅又は藤田医大からJR岡崎駅を経由して西尾市中心部へ至る市域を跨ぐ路線であり、通勤、通学、通院等の移動手段として利用されるなど、地域住民の日常生活における交通手段となっている。また、岡崎市の沿線商業施設への買い物利用など広域的な利用も見られる。	・道路状況の把握による定時運行確保 ・ダイヤ等の検討を継続 ・公共交通マップの作成・配布等 ・デマンド型乗合タクシーとの乗継の周知 ・感染対策等の安全性の周知 ・公共交通の利用講座等を開催
03岡崎 09刈谷・安城・碧南・西尾	名鉄東部交通(株)	名鉄東部交通(株)	45	岡崎駅西口 ～ 西尾市民病院 ～ 西尾	・R4.4.1ダイヤ改正実施 ・公共交通マップの作成・配布 ・総合時刻表を作成 ・コロナ禍での安心安全なバス利用のPR ・月3,000円の「スクールバス」を発行	A	事業計画通りの運行ができた。	A	目標：61,020 実績：77,001 達成率：126.2%  ダイヤ改正効果による利便性向上の可能性が考えられる。	31.3	33.3	2.9	11.6	46.8	51.7	JR岡崎駅と西尾市中心部を結ぶ市域を跨ぐ路線である。沿線には藤田医大病院、西尾市民病院、西尾東高校があり通勤、通学、通院の足として地域住民の移動手段となっている。また、岡崎市の沿線商業施設への買い物利用など広域的な利用も見られる。	・道路状況の把握による定時運行確保 ・ダイヤ等の検討を継続 ・公共交通マップの作成・配布等 ・デマンド型乗合タクシーとの乗継の周知 ・感染対策等の安全性の周知 ・公共交通の利用講座等を開催
03岡崎 09刈谷・安城・碧南・西尾	安城市	東伸運輸(株)	61	北部福祉センター ～ JR安城駅 ～ 北部福祉センター	・夏休み小学生無料乗車キャンペーンの再開 ・無料乗車キャンペーンの対象拡大 ・車内掲示、HP等での感染対策の周知 ・外国語版の時刻表、マップの作成・配布 ・バスロケーションシステムによる情報提供 ・多客期等に主要バス停へのバス案内人の配置	A	補助対象期間の開始日から、運休や大幅な遅延もなく、所定の事業計画どおりの運行が実施されている。	B	目標：33,000 実績：23,613 達成率：71.6%  移動制限が緩和され回復傾向だが、生活様式の変化に伴い移動自体が減少したため、目標達成には至っていない。	26.9	26.9	3.9	6.9	9.7	13.1	市域を跨ぐ利用者は183人/月と想定され、広域的な路線として役割を果たしている。安城市内の病院への通院や、JR安城駅で鉄道に接続する通勤・通学に利用されている。	・バスロケータを活用した利便性向上 ・観光施策と連携した利用促進 ・バス乗り方教室等による利用促進 ・地域住民とのヒアリングや懇談会の実施 ・岡崎市公共交通マップの作成・配布 ・感染対策等の安全性の周知
04一宮	名鉄バス(株)	名鉄バス(株)	7	名鉄一宮駅 ～ 木曾川庁舎 ～ イオンモール木曾川	・HP、スマホでの時刻検索システム提供 ・バスロケーションシステムの提供 ・コンテンツプロバイダへのデータ提供 ・一宮駅構内へバスのりば案内の設置 ・バスマップの更新・配布 ・1日乗車券の発売 ・期間限定で高齢者向けフリーバスの購入補助	A	計画どおり運行が実施された。	B	目標：60,500 実績：59,145 達成率：97.8%  昨年の利用者数からは上回り増加傾向であるが、コロナの影響により出控えがあるため未達である。	25.2	25.2	2.4	10.5	37.2	35.3	両地区を跨ぐ利用者の内訳は、通勤2.9%、通学0.0%、高齢者74.7%、定期外73.3%となっている。尾張一宮駅、名鉄一宮駅の利用者、大型商業施設への利用者が大部分と考えられる。旧木曾川町住民の中心市街地及び鉄道駅への移動のほか、その他地区住民のイオン木曾川店への利用があると考えられる。	・HP、スマホでの時刻検索 ・バスロケーションシステムの提供 ・コンテンツプロバイダへのデータ提供 ・高齢者用定期券の積極的なPR ・バスマップの配布、1日乗車券の発行
04一宮	一宮市	名鉄バス(株)	13	木曾川庁舎 ～ 名鉄一宮駅 ～ 市民病院	・一宮駅構内へバスのりば案内の設置 ・バスマップの更新・配布 ・1日乗車券の発売 ・GTFSDデータの最新情報管理 ・バス停への予約乗合タクシーの継続運行	A	補助対象期間の開始日から、運休や大幅な遅延もなく、所定の事業計画どおりの運行が実施されている。	B	目標：73,430 実績：70,822 達成率：96.4%  コロナの影響により、公共交通機関の利用控えと考慮される期間があり、目標を達成できなかった。	29.8	29.8	2.9	10.3	28.4	31.3	旧市町村域を跨ぐ利用者は2,996人/月と推定され、広域的な路線の役割を果たしていると考えられる。利用者は、沿線病院への通院、及び尾張一宮駅、名鉄一宮駅への利用が大部分と考えられる。	・バスマップの配布、1日乗車券の発行 ・バスの乗り方教室等PR ・バスを利用した施設案内チラシ等の充実
04一宮	一宮市	名鉄バス(株)	14	秋原駅 ～ 尾西庁舎 ～ 秋原駅	・バスマップの更新・配布 ・1日乗車券の発売 ・GTFSDデータの最新情報管理 ・バス停への予約乗合タクシーの継続運行	A	補助対象期間の開始日から、運休や大幅な遅延もなく、所定の事業計画どおりの運行が実施されている。	B	目標：36,125 実績：33,038 達成率：91.5%  コロナの影響により、公共交通機関の利用控えと考慮される期間があり、目標を達成できなかった。	31.2	31.2	4.0	7.8	12.1	11.8	旧市町村域を跨ぐ利用者は、350人/月と推定され、広域的な路線の役割を果たしていると考えられる。利用者は、沿線病院への通院、及び秋原駅への利用が大部分と考えられる。	・バスマップの配布、1日乗車券の発行 ・バスを利用した施設案内チラシ等の充実 ・住民懇談会等の実施 ・バス路線やダイヤの見直し検討

交通圏	①補助対象事業者等		②事業概要		③前回（又は類似事業）の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況						⑥複数市町村を跨ぐ系統/幹線系統としての役割	⑦事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
	運営主体	運行事業者	No.、系統名	運行区間			【評価目標指標：利用者数】 A：達成 B：未達成 C：目標の半数にも満たず	輸送量(人)			収支率(%)			
								R4計画	R4実績	平均乗車密度	運行回数	R3実績		
04一宮	一宮市	名鉄バス(株)	15 i-バス (木曾川・北方コース)	木曾川庁舎 ～ 木曾川市民病院 ～ 木曾川庁舎	A	B	20.2	11.4	1.3	8.8	8.9	8.0	旧市町村域を跨ぐ利用者は、206人/月と推定され、広域的な路線の役割を果たしていると考えられる。利用者は、沿線病院への通院、大型商業施設への買い物、鉄道駅の利用、他のバスコースへの乗継ぎが大部分と考えられる。	・バスマップの配布、1日乗車券の発行 ・バスを利用した施設案内チラシ等の充実 ・住民懇談会等の実施 ・バス路線やダイヤの見直し検討
05瀬戸・日進・豊明	名鉄バス(株)	名鉄バス(株)	5 日進中央	赤池駅 ～ 日進市役所 ～ 長久手古戦場駅	A	A	52.5	63.0	4.2	15.0	52.3	56.9	両地区を跨ぐ利用者の内訳は、通勤10.4%、通学10.4%、高齢者71-75.2%、定期外74.0%となっている。リニモ駅及び大規模商業施設が近接することから、停留所2か所のみ長久手市と跨ぐ利用が3割ほど相対的に多い。日進市南西部の赤池駅と北部の長久手古戦場駅を結び、南北移動の軸となっており、交通結節点を結び、コミュニティバスとも接続し、幹線として重要な役割を担っている。	・HP、スマホでの時刻検索 ・バスロケーションシステムの提供 ・コンテンツプロバイダへのデータ提供 ・高齢者用定期券の積極的なPR ・市HP、広報等での周知 ・市民アンケートの実施 ・公共交通計画策定の検討 ・利用促進イベントの開催
05瀬戸・日進・豊明	名鉄バス(株)	名鉄バス(株)	6 星ヶ丘・豊田	赤池駅 ～ 御岳 ～ イオン三好店アイモール前	A	A	18.8	16.9	2.6	6.5	24.0	36.6	市町を跨ぐ利用者の内訳は、通勤3.7%、通学2.5%、高齢者71-75.2%、定期外92.6%となっている。赤池駅の利用者、大型商業施設への買い物のための利用者が大部分と考えられ、市町を跨ぐ利用者の割合が高い。複数の大型商業施設への買物移動需要を支える他、赤池駅に接続することにより、広域移動を確保する重要な路線である。	・HP、スマホでの時刻検索 ・バスロケーションシステムの提供 ・コンテンツプロバイダへのデータ提供 ・高齢者用定期券の積極的なPR ・沿線市町の情報共有 ・市HP、広報等での周知 ・大型商業施設内にバスマップを設置 ・大型商業施設と利用促進イベントの実施
05瀬戸・日進・豊明	名鉄バス(株)	名鉄バス(株)	9 愛知医科大学病院	長久手古戦場駅 ～ 愛知医科大学病院 ～ 尾張旭向ヶ丘	A	A	24.3	16.2	1.4	11.6	23.0	23.6	両地区を跨ぐ利用者の内訳は、通勤12.1%、通学8.8%、高齢者71-75.4%、定期外74.7%となっている。愛知医科大学病院への利用が多いほか、沿線高校への通学利用もあり、南北方向の移動の軸となっている。交通結節点同士を結んでおり、幹線として重要な役割を担う路線である。	・HP、スマホでの時刻検索 ・バスロケーションシステムの提供 ・コンテンツプロバイダへのデータ提供 ・高齢者用定期券の積極的なPR ・市HP、広報、イベントでの利用周知 ・公共交通全般に関する市民懇談会の実施 ・公共交通計画策定に向けた検討
05瀬戸・日進・豊明	名鉄バス(株)	名鉄バス(株)	10 本地ヶ原	藤が丘 ～ 愛知医科大学病院 ～ 瀬戸駅前	A	A	31.5	34.0	4.2	8.1	45.8	58.5	両地区を跨ぐ利用者の内訳は、通勤3.6%、通学8.9%、高齢者71-75.3%、定期外82.2%となっている。愛知医科大学病院への通院利用が多いほか、沿線住民の鉄道駅への接続や買物の足として利用されている。交通結節点同士を結んでおり、幹線として重要な役割を担う路線である。	・HP、スマホでの時刻検索 ・バスロケーションシステムの提供 ・コンテンツプロバイダへのデータ提供 ・高齢者用定期券の積極的なPR ・交通エコライフの取組促進 ・市HP等での乗継情報等の周知 ・市HP、広報、イベントでの利用周知 ・公共交通全般に関する市民懇談会の実施 ・公共交通計画策定に向けた検討
05瀬戸・日進・豊明	日進市	名鉄バス(株)	24 くるりんばす (梅森線)	日進市役所 ～ 東名古屋病院 ～ 日進市役所	A	B	17.8	12.8	1.3	9.9	12.6	13.0	市町村を跨ぐ移動は全体の6%程度であるが、平針駅及び赤池駅を沿線に据え、多数の利用者が鉄道を介して広域移動を行っており、広域移動を支える非常に重要な路線である。	・全面的な路線改正案の検討を実施 ・グッズを活用した利用促進イベントの実施 ・HP、Twitter等を活用した公共交通の周知 ・収支率の目標：14.0%（1%改善） ・交通エコライフの取組推進
05瀬戸・日進・豊明	日進市	名鉄バス(株)	25 くるりんばす (五色園線)	市役所 ～ 長久手古戦場駅 ～ 市役所	A	B	18.8	18.8	1.9	9.9	15.1	14.1	全体の約7割が市町村を跨ぐ利用であり、交通結節点と日進市東部を結び非常に重要な路線である。長久手市をはじめ、名古屋市や豊田市へといった、市域を超えた移動を支える非常に重要な路線である。	・全面的な路線改正案の検討を実施 ・グッズを活用した利用促進イベントの実施 ・HP、Twitter等を活用した公共交通の周知 ・収支率の目標：15.20%（1%改善） ・沿線市等と連携した路線の最適化 ・イベント等で周知

交通圏	①補助対象事業者等		②事業概要		③前回（又は類似事業）の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況						⑥複数市町村を跨ぐ系統/幹線系統としての役割	⑦事業の今後の改善点 (特記事項を含む)				
	運営主体	運行事業者	No.、系統名	運行区間			【計画目標指標：利用者数】 A：達成 B：未達成 C：目標の半数にも満たず	輸送量(人)			収支率(%)							
								R4計画	R4実績	平均乗車密度	運行回数	R3実績			R4実績			
05瀬戸・日進・豊明	尾張旭市	豊栄交通(株)	52	尾張旭市営バス(東ルート)	市役所 ～ イトーヨーカドー前 ～ 市役所	・利用者懇談会及びアンケートの実施 ・ルートマップを転入者用パンフレットに同封 ・ルートマップを商業施設や病院に配布 ・GTFSデータを更新 ・関係市との意見交換及び現状の情報共有 ・他市の公共交通マップにダイヤ掲載 ・乗り継ぎ便を把握しやすとした ・イベントで公共交通利用促進を実施	A	計画どおり運行されている。	A	目標：100,000 実績：101,088 達成率：101.1%	63.4	64.9	4.3	15.1	15.9	14.8	市域を跨いで利用が全体の7.7%を占め、広域的な路線の役割を果たしている。商業施設や名鉄瀬戸線三郷駅周辺への移動手段として、また、愛知医大への通院利用もある。愛知医大停留所は通院利用のほか、バスロータリーが併設され、隣接市のコミュニティバスや名鉄バスも乗り入れており、交通結節点としての機能も有する。	・利用ニーズに沿った運行計画の再編を検討 ・市イベント等で周知 ・近隣自治体との情報共有 ・HPを活用した乗継情報等の提供 ・尾張旭市等と連携し路線の最適化を図る ・主催のイベント等で周知を行う
	尾張旭市	豊栄交通(株)	53	尾張旭市営バス(西ルート)	市役所 ～ 印場駅 ～ 市役所	・利用者懇談会及びアンケートの実施 ・ルートマップを転入者用パンフレットに同封 ・ルートマップを商業施設や病院に配布 ・GTFSデータを更新 ・関係市との意見交換及び現状の情報共有 ・他市の公共交通マップにダイヤ掲載 ・乗り継ぎ便を把握しやすとした ・イベントで公共交通利用促進を実施	A	計画通りに運行されている。	A	目標：110,000 実績：110,112 達成率：100.1%	73.9	77.0	5.1	15.1	17.0	16.6	市域を跨いで利用が全体の11.6%を占め、広域的な路線の役割を果たしていると考えられる。名鉄瀬戸線の移動手段のほか、愛知医大への通院利用がある。愛知医大停留所は通院利用のほか、バスロータリーが併設され、隣接市のコミュニティバスや名鉄バスも乗り入れており、交通結節点としての機能も有する。	・利用ニーズに沿った運行計画の再編を検討 ・市イベント等で周知 ・交通エコライフの取組推進 ・尾張旭市等と連携し路線の最適化を図る ・主催のイベント等で周知を行う
05瀬戸・日進・豊明	東郷町	瀬戸自動車運送(株)	64	じゅんかい君(北コース)	ららばーと愛知東郷 ～ 日進駅 ～ ららばーと愛知東郷	・大型商業施設と連携イベントを実施 ・尾三地区管内の担当者会議を開催 ・利用促進イベントを近隣市町の広報に掲載 ・バスロケーションシステムの運用 ・検査サービス業者にGTFSデータの提供 ・日進市市役所窓口等で路線図・時刻表を配布	A	補助対象期間の開始日から、連休もなく、所定の事業計画どおりの運行が実施されている。	A	目標：86,648 実績：101,692 達成率：117.4%	15.6	33.5	1.5	22.6	10.6	10.7	市町を跨いで利用が利用者の26.5%を占め、広域的な路線の役割を果たしている。日進駅に接続することにより通勤通学のほか、日進市も含め東郷町外から東郷町内の商業施設への買い物などの移動需要に対応しており、広域移動を確保する重要な路線である。	・大型商業施設と連携イベントを実施 ・他町市広報掲載、HP、SNS等による広報 ・窓口での路線図・時刻表の配布 ・日進市HP等での巡回バスとの乗継事例紹介
06東海・半田・大府・常滑・美浜	知多乗合(株)	知多乗合(株)	37	半田・常滑(A)	知多半田駅 ～ 青山駅前 ～ 常滑駅	・広報等に路線時刻表を掲載 ・沿線施設等に路線の周知 ・燃料高騰対策として補助事業を実施 ・イベントでの情報発信 ・高齢者運転免許自主返納促進事業の実施 ・バスロケーションシステムの継続 ・官民共通の運賃上限制度を継続 ・高齢者等を対象とした運賃助成制度を継続 ・時刻表を市民病院や市役所窓口等に設置	A	事業計画どおり運行回数が確保されている。	B	目標：37,435 実績：23,773 達成率：63.5%	26.6	10.5	2.3	4.6	48.4	28.2	市域をまたぐ利用がおよそ3割を占め、知多半田駅及び常滑駅において鉄道線への乗り換え利用があるなど、広域的な路線の役割を果たしている。鉄道への乗り換えや通勤通学のほか、買い物など様々な日常生活の移動手段として利用されている。	・利用しやすいダイヤ設定と周知 ・期間限定での無料乗車キャンペーンを実施 ・県の実施する利用促進事業への協力 ・広報誌、市HPを活用した利用促進 ・コミュニティバスとの接続改善による利便性向上
06東海・半田・大府・常滑・美浜	知多乗合(株)	知多乗合(株)	38	半田・常滑(D)	知多半田駅 ～ りんくう常滑駅 ～ 旅客ターミナルビル	・広報等に路線時刻表を掲載 ・沿線施設等に路線の周知 ・燃料高騰対策として補助事業を実施 ・イベントでの情報発信 ・高齢者運転免許自主返納促進事業の実施 ・バスロケーションシステムの継続 ・官民共通の運賃上限制度を継続 ・高齢者等を対象とした運賃助成制度を継続 ・時刻表を市民病院や市役所窓口等に設置	A	事業計画どおり運行回数が確保されている。	A	目標：87,177 実績：106,879 達成率：122.6%	34.4	24.0	3.0	8.0	34.5	30.5	市域をまたぐ利用がおよそ2割弱を占め、知多半田駅及び常滑駅において鉄道線への乗り換え利用があるなど、広域的な路線の役割を果たしている。空港で勤務する従業員の通勤路線としての利用があるなど、通勤、通学に利用されている。	・利用しやすいダイヤ設定と周知 ・期間限定での無料乗車キャンペーンを実施 ・県の実施する利用促進事業への協力 ・広報誌、市HPを活用した利用促進 ・コミュニティバスとの接続改善による利便性向上
06東海・半田・大府・常滑・美浜	知多乗合(株)	知多乗合(株)	39	半田・常滑(N)	日本福祉大学 ～ 知多半田駅 ～ 常滑市民病院	・広報に時刻表を掲載、沿線施設に周知 ・燃料高騰対策として補助事業を実施 ・イベントでの情報発信 ・高齢者運転免許自主返納促進事業の実施 ・バスロケーションシステムの継続 ・官民共通の運賃上限制度を継続 ・高齢者等を対象とした運賃助成制度を継続 ・時刻表を市民病院や市役所窓口等に設置 ・常滑駅～常滑市民病院をコミュニティバス化	A	事業計画どおり運行回数が確保されている。	A	目標：50,670 実績：79,285 達成率：156.5%	23.0	28.8	8.0	3.6	51.5	57.7	市域をまたぐ利用がおよそ2割弱を占め、知多半田駅及び常滑駅において鉄道線へ乗り換え利用があるなど、広域的な路線の役割を果たしている。日本福祉大学の学生が通学のために利用するほか、沿線にある医療機関へ利用する住民が多い。	・利用しやすいダイヤ設定と周知 ・期間限定での無料乗車キャンペーンを実施 ・県の実施する利用促進事業への協力 ・運営主体と連携した新規利用者獲得の取組
06東海・半田・大府・常滑・美浜	知多乗合(株)	知多乗合(株)	40	常滑南部(B)	常滑市民病院 ～ 常滑駅 ～ 上野間駅	・広報等に時刻表を掲載、沿線施設等に周知 ・高齢者等に対して運賃助成制度を継続 ・ダイヤ変更時に時刻表を市民病院等に設置 ・R4.10.1から常滑市のコミュニティバス化	A	事業計画どおり運行回数が確保されている。	A	目標：44,126 実績：60,603 達成率：137.3%	26.0	23.0	2.3	10.0	33.0	28.4	大半の旅客は常滑市内の利用であるが、市町を跨ぐ利用が一定数あり、広域的な路線の役割を果たしている。常滑市南部、美浜町の住民が常滑市中心部(駅、常滑市民病院、大型商業施設)へ向かうために利用している。	2022年9月末以降 10月1日より常滑市のコミュニティバスグループに置換え。

交通圏	①補助対象事業者等		②事業概要		③前回（又は類似事業）の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況						⑥複数市町村を跨ぐ系統/幹線系統としての役割	⑦事業の今後の改善点 (特記事項を含む)					
	運営主体	運行事業者	No.、系統名	運行区間			【計画目標指標：利用者数】 A：達成 B：未達成 C：目標の半数にも満たず	輸送量(人)			収支率(%)								
								R4計画	R4実績	平均乗車密度	運行回数	R3実績			R4実績				
06東海・半田・大府・常滑・美浜	知多乗合(株)	知多乗合(株)	41	師崎	河和駅 ～ 師崎港	A	・広報等に時刻表を掲載、沿線施設等に周知 ・広報誌等によるPR、町民感謝デー等を実施 ・地域団体と連携し高齢者への東方教室を企画 ・路線再編のため関係機関、住民と検討を開始 ・小中学生の利用促進事業を実験的に開始	A	事業計画どおり運行回数が確保されている。	A	目標：59,720 実績：69,719 達成率：116.7%  当初の想定より、コロナ禍以降の利用者数の回復がみられたため。	48.5	33.5	2.3	14.6	29.8	22.3	両町を跨ぐ利用がおよそ7割にのぼり、広域的な路線の役割を果たしている。名鉄河和駅や病院の利用者が多い。	・利用しやすいダイヤ設定と周知 ・南知多町海っ子バスと運行を一体化 ・美浜町の運行見直し時期に合わせて検討
	知多乗合(株)	知多乗合(株)	42	横須賀(A)	大府駅前 ～ 尾張横須賀駅	A	・広報等に時刻表を掲載、沿線施設等に周知 ・コミュニティバス路線図に路線バスの路線を明示 ・コミュニティバスと路線バスの時刻表を併せて配布 ・コミュニティバス路線図、時刻表に乗継箇所を明示	A	事業計画どおり運行回数が確保されている。	A	目標：55,347 実績：76,105 達成率：137.5%  当初の想定より、コロナ禍以降の利用者数の回復がみられたため。	49.6	43.7	3.5	12.5	54.1	47.0	市域を跨ぐ利用がおよそ5割にのぼり、広域的な路線の役割を果たしている。知多バス上野台線と共に、東海市と大府市を結ぶ重要な公共交通手段であり、高等学校近くに停留所があることや、鉄道駅へ接続していることにより通勤・通学利用者が多い。	・利用しやすいダイヤ設定と周知 ・コミュニティバスと相互利用可能なダイヤを検討 ・PR活動の継続 ・沿線自治体と利用者増加策の検討
	知多市	知多乗合(株)	43	あいあいバス(北部循環コース)	朝倉駅 ～ 朝倉駅(循環)	A	・HPにバスロケ紹介ページを作成 ・バス停にバスロケ用QRコードを掲載 ・バスマップの内容見直し ・高齢者にバスロケ講習会の実施 ・HPでの乗継案内 ・市役所等において時刻表を配架 ・バスロケ表示ディスプレイの運用	A	計画通り運行した。	A	目標：51,000 実績：56,472 達成率：110.7%  新型コロナウイルスによる利用者の減少が収まり、利用者数が回復傾向にあるため。	19.6	23.5	2.4	9.8	5.8	6.4	知多市東部地区の住民は、隣接する東海市や阿久比町に生活圏があり、通院、買い物など日常生活の移動手段として利用されている。特に東海市にある立西知多総合病院の利用が多い。乗り継げるバス停が増えたため、相互利用による住民の往来が増えている。	・バスロケーションシステム導入のPR ・システムを活用した利用実態の把握 ・コミュニティバスと相互利用可能なダイヤを検討 ・阿久比町役場において時刻表を配架
06東海・半田・大府・常滑・美浜	南知多町	レスクル(株)	62	海っ子バス(豊浜線)	師崎港 ～ 河和駅	A	・HP、広報誌を活用したPR ・町民感謝デー等を実施 ・地域団体と連携し高齢者乗用方教室を企画 ・路線再編に向け関係機関、住民と検討開始 ・小中学生の利用促進事業を実験的に開始 ・目的地に合わせた利用の周知	A	事業計画どおり運行回数が確保されている	A	目標：71,100 実績：80,565 達成率：113.3%  コロナによる行動制限の緩和。	25.4	24.0	1.5	16.0	22.3	29.9	町域を越えての病院への通院や河和駅への利用者が多く、広域的な路線の役割を果たしている。	・路線及び運賃の見直しを実施
06東海・半田・大府・常滑・美浜	武豊町	フジキューー整備(株)	63	ゆめころん(赤ルート)	武豊町役場 ～ イオン半田店 ～ 武豊町役場	A	・無料乗車券及び回数券発行を開始 ・新型コロナ対策の実施 ・地域公共交通計画を策定 ・制度の改正に伴い、新たな時刻表を作成 ・住民団体と協力し、停留所ベンチを製作 ・イベントを活用した関係市町相互の情報発信 ・高齢者運転免許自主返納促進事業の実施 ・バスロケーションシステムの継続 ・接続するコミュニティバスの運賃改定	A	補助対象期間の開始日から、天候等による影響以外での運休や大幅な遅延もなく、所定の事業計画どおりの運行が実施されている。	A	目標：38,100 実績：41,667 達成率：109.4%  新型コロナウイルス「第6波」の期間中は補の月と比べ、利用者数が減少したが、「盆盆を控える、マスク着用」等の車内感染対策を実施し、盆盆を控えて頂くことで安心してご利用いただけるようになり、その期間は目標超過であった。	18.4	48.6	5.4	9.0	9.4	37.7	半田市の大型商業施設と鉄道駅に接続する停留所を設けたことで行政圏を跨ぐ広域的な交通網が形成され、利用者の2割以上が行政圏を跨ぐ利用をしている。この2ヶ所の停留所の設置のほか、交通結節点となる駅にはバスシェルターを設置しており利用者の増加・定着に寄与している。今後も広域的な交通網としての確保維持が必要である。	・無料乗車券等の利用促進事業実施 ・会議を控える等の新型コロナ対策の呼びかけ ・安全な公共交通利用に関するPR ・運転免許証の自主返納の呼び掛け ・公共交通を活用する生活スタイルへの転換の呼びかけ ・新時刻表の配布、乗車案内の活用呼びかけ ・車内の消毒、アルコールの配布 ・住民団体と連携し、乗車機会拡大の企画の実施 ・バス情報のGTF化、乗継情報等の発信強化
07小牧・犬山・江南	名鉄バス(株)	名鉄バス(株)	8	岩倉	岩倉 ～ 藤島団地 ～ 名鉄間内駅	A	・沿線地区、沿線小学校へのチラシ配布 ・路線図、時刻表の配布やHPへの掲載 ・市内事業所へのチラシ配布 ・イベントでの啓発活動	A	台風19号の影響により5本の運休となったが、それ以外は所定の確保計画どおりの運行が実施されている。	A	目標：24,123 実績：24,982 達成率：103.6%  コロナと共存する新しい生活様式が定着しつつあるため。	25.2	13.2	1.1	12.0	19.2	19.5	両地区を跨ぐ利用者の内訳は、通勤11.6%、通学4.7%、高齢者74.3%、定期外74.4%となっている。岩倉駅の利用者が大半であり、定期利用が少なく安定した利用確保のために周知が必要である。小牧市北東地区の住民が岩倉駅、間内駅へのアクセス手段として利用しているほか、岩倉市の岩倉団地から岩倉駅までのアクセス手段としての利用もある。	・HP、スマホでの時刻検索 ・バスロケーションシステムの提供 ・コンテンツアプリへのデータ提供 ・高齢者用定期券の積極的なPR ・沿線地区、沿線小学校へのチラシ配布 ・市内事業所へのチラシ配布 ・イベントでの啓発活動
01名古屋 07小牧・犬山・江南	あおい交通(株)	あおい交通(株)	47	豊山幸田・勝川	勝川駅前 ～ 豊山・幸田	A	・広報やHP等でPR ・コロナ禍の安心・安全なバス利用をPR ・路線図、時刻表を配布 ・公共交通マップを更新・作成 ・イベント等で公共交通利用促進のPR	A	事業計画通りの運行ができた。	A	目標：55,000 実績：60,379 達成率：109.8%  後半は緊急事態宣言が解除され外出や航空機利用者が増えたため。	38.1	36.3	2.2	12.2	42.5	59.2	豊山町と春日井市をまたぐ利用が大半を占めており、両市町を結ぶ広域的な路線の役割を果たしている。	・公共交通マップの配布先拡大 ・収支率を1%向上 ・利用促進の継続実施

交通圏	①補助対象事業者等		②事業概要		③前回（又は類似事業）の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況						⑥複数市町村を跨ぐ系統/幹線系統としての役割	⑦事業の今後の改善点 (特記事項を含む)	
	運営主体	運行事業者	No.、系統名	運行区間			【計画目標指標：利用者数】 A：達成 B：未達成 C：目標の半数にも満たず	輸送量(人)			収支率(%)				
								R4計画	R4実績	平均乗車密度	運行回数	R3実績			R4実績
08津島・あま・弥富	飛島村	三重交通(株)	56 飛島公共交通バス (蟹江線①)	近鉄蟹江駅前 ～ 公民館分館	・R3.4からICカードを導入 ・住民意見交換会を開催 ・沿線で行われるイベントをPR	A 計画通りの運行であった。	A 目標：116,200 実績：121,346 達成率：104.4%  ICカードシステムの導入による利便性の向上。	78.6	69.5	3.8	18.3	46.4	47.5	近鉄蟹江駅を利用する通勤通学者が大多数を占める。近鉄蟹江駅から弥富市内、飛島村内の企業への通勤利用が多いほか、沿線住民の名古屋市方面への通勤・通学・買い物等の利用もあり、広域的な路線の役割を果たしている。	・HP、チラシへの配布 ・イベント時のPR活動実施 ・利便性向上のための公共交通機関再編 ・沿線イベントや行事のPR ・他の交通機関との連携を強化
09刈谷・安城・碧南・西尾	名鉄バス(株)	名鉄バス(株)	11 ふれんどバス①	吉良高校 ～ 碧南駅	・HP、スマホでの時刻検索システム提供 ・バスロケーションシステムの提供 ・コンテンツツポバイダへのデータ提供 ・時刻表の配布、市広報やHPでの情報発信 ・市内高校へICカード・バスロケの導入の周知 ・刈谷バス停に自転車駐車を設置 ・市内の公共交通を網羅したマップを作成 ・総合時刻表を作成 ・コロナ禍における安心安全なバス利用のPR	A 住宅火災等の影響により5本の運休となったが、それ以外は所定の確保計画どおりの運行が実施されている。	B 目標：168,378 実績：119,454 達成率：70.9%  現金・ICSF利用者は増加しつつあるが、当路線の主な利用者である通学利用が減少した。	50.4	44.1	3.5	12.6	27.3	26.0	市町村を跨ぐ利用者の内訳は、通勤17.3%、通学60.1%、高齢者71-70.3%、定期外22.4%となっている。ほぼ全てが広域的な利用であり、沿線高校の通学需要が大半を占める。住宅地、駅、学校を結ぶ路線として通勤・通学に大きな役割を果たしている。	・HP、スマホでの時刻検索 ・バスロケーションシステムの提供 ・コンテンツツポバイダへのデータ提供 ・高齢者用定期券の積極的なPR ・碧南市駐輪場わかりやすい情報提供 ・公共交通マップ、総合時刻表作成 ・多言語対応のパンフレット配布 ・感染症予防を実施したバス利用のPR
09刈谷・安城・碧南・西尾	安城市	名鉄バス(株)	19 あんくるバス (西部線)	新金城駅南口 ～ 三河安城駅中央口経由 ～ 新金城駅南口	・夏休み小学生無料乗車キャンペーンの再開 ・無料乗車キャンペーンの対象拡大 ・車内掲示、HP等での感染対策の周知 ・外国語版の時刻表・マップの作成・配布 ・バスロケーションシステムによる情報提供 ・多客期等に主要バス停へのバス案内人の配置 ・意見交換会の開催	A 補助対象期間の開始日から、運休や大幅な遅延もなく、所定の事業計画どおりの運行が実施されている。	B 目標：61,000 実績：53,266 達成率：87.3%  移動制限が緩和され回復傾向だが、生活様式の変化に伴い移動自体が減少したため、目標達成には至っていない	40.0	46.9	6.8	6.9	19.8	22.1	東刈谷駅バス停の乗車数は224人/月であり、広域的な路線として役割を果たしている。利用者へは通勤、通学や沿線病院への通院、買い物のための利用者が多いと考えられる。東刈谷駅の周辺に在住の住民が、三河安城駅への移動手段として利用していることが想定される。	・バスロケータを活用した利便性向上 ・観光施策と連携した利用促進 ・バス乗り方教室等による利用促進 ・地域住民とのヒアリングや懇談会の実施 ・アンケート調査や意見交換会の実施 ・地域公共交通計画策定に向けた検討
09刈谷・安城・碧南・西尾 10豊田	知立市	名鉄バス(株)	21 ミニバス (2コース)	知立駅 ～ 三河八橋駅 ～ 知立駅	・広報やHP等にミニバスに関する記事を掲載 ・公式LINEでの運行情報の掲載 ・各バス停にバスロケの利用方法の掲示 ・同一バス停の乗り場位置を掲示 ・消毒・換気の徹底等の感染症対策 ・豊田市バスマップに掲載	A 補助対象期間の開始日から、運休や大幅な遅延もなく、所定の事業計画通りの運行が実施されている。	B 目標：33,315 実績：31,511 達成率：94.6%  移動制限が緩和され徐々に回復しているが、生活様式が定着しつつあり移動自体が減少したため、目標達成には至っていない	21.3	17.8	2.0	8.9	11.8	11.3	三河八橋駅バス停の利用者数は117人/月と推定され、昨年度から27人/月増加した。三河八橋駅バス停は前年度から最も利用者が増え、名鉄三河線を利用し豊田市方面への通勤、通学、買い物等の利用があり、多く広域的な路線としての役割を果たしていると考えられる。市町村を跨いでの利用者は4.6%にとどまっているものの、通勤・通学等の手段として一定の役割を果たしている。	・HPに他市バスを含めたモデルコースを掲載 ・HPや公式アカウントによる最新情報の提供 ・コロナ対策の徹底による安心乗車のPR ・R4年度の収支率目標を11.27%以上とする ・公共交通会議等での運行課題の検討 ・市バスマップに路線情報を掲載

交通圏	①補助対象事業者等		②事業概要		③前回（又は類似事業）の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況						⑥複数市町村を跨ぐ系統/幹線系統としての役割	⑦事業の今後の改善点（特記事項を含む）		
	運営主体	運行事業者	No.、系統名	運行区間			【計画目標指標：利用者数】 A：達成 B：未達成 C：目標の半数にも満たず	輸送量(人)			収支率(%)					
								R4計画	R4実績	平均乗車密度	運行回数	R3実績			R4実績	
09刈谷・安城・碧南・西尾	知立市	名鉄バス(株)	22	ミニバス(3コース)	知立駅～東刈谷駅～知立駅	・広報やHP等にミニバスに関する記事を掲載 ・公式LINEでの運行情報の掲載 ・各バス停にバスロケの利用方法の掲示 ・同一バス停の乗り場位置を掲示 ・消毒・換気の徹底等の感染症対策 ・豊田市バスマップに掲載 ・意見交換会の開催し、路線再編を検討	A	目標：61,625 実績：61,759 達成率：100.2%	55.1	54.0	5.1	10.6	22.3	22.6	東刈谷駅北口バス停からの利用者数は、742人/月と推定され、昨年度より56人/月増加している。鉄道駅を介した通勤・通学や、刈谷市公共バスを利用した総合病院への通院への利用で広域的な路線としての役割を果たしていると考えられる。東刈谷駅周辺住民が大型商業施設や名鉄知立駅への移動手段として活用している。	・HPに他市バスを含めたモデルコースを掲載 ・知立駅前のマルシェで無料乗車券を配布 ・R4年度の収支率目標を22.5%以上とする ・公共交通会議等での運行課題の検討 ・アンケート調査や意見交換会を実施 ・地域公共交通計画策定に向けた検討
	知立市	名鉄バス(株)	23	ミニバス(4コース)	知立駅～野田新町駅～知立駅	・広報やHP等にミニバスに関する記事を掲載 ・公式LINEでの運行情報の掲載 ・各バス停にバスロケの利用方法の掲示 ・同一バス停の乗り場位置を掲示 ・消毒・換気の徹底等の感染症対策 ・豊田市バスマップに掲載 ・意見交換会の開催し、路線再編を検討	A	目標：29,097 実績：28,072 達成率：96.5%	20.5	19.6	2.0	9.8	11.3	10.7	野田新町駅北口バス停からの利用者数は255人/月と推定される。鉄道駅を介した通勤・通学や、刈谷市公共バスを利用した総合病院への通院への利用で広域的な路線としての役割を果たしている。東刈谷駅周辺住民が大型商業施設や名鉄知立駅への移動手段として、ミニバスを活用している。	・HPに他市バスを含めたモデルコースの掲載 ・知立駅前のマルシェで無料乗車券を配布 ・R4年度の収支率目標を10.69%以上とする ・公共交通会議等での運行課題の検討 ・アンケート調査や意見交換会を実施 ・地域公共交通計画策定に向けた検討
	名鉄東部交通(株)	名鉄東部交通(株)	46	一色	西尾(西尾市民病院)～福地～一色町公民館	・R4.1ダイヤ改正実施 ・沿線の催事及び道路状況の情報収集 ・市内の公共交通を網羅したマップを制作 ・総合時刻表を制作 ・Googleマップなどへの路線情報の反映 ・コロナ禍における安心安全バス利用のPR ・月3,000円の「スクールバス」を発行	A	目標：71,944 実績：81,143 達成率：112.8%	22.8	33.2	3.2	10.3	37.3	87.9	一色地区と西尾市中心部を結ぶ路線であり、地域住民の日常生活における交通手段となっている。通勤、通学や日中の通院のほか、西尾駅で鉄道から乗り換え佐久島へ向かう観光客など、一色地区と西尾市中心部を跨る利用が多く見られる。	・いこいの農園への路線延長の検討 ・さかな広場への増便の検討 ・道路状況の把握による定時運行確保 ・観光PR等による利用促進
10豊田	名鉄バス(株)	名鉄バス(株)	3	矢並	豊田市～矢並公民館前～足助	・HP、スマホでの時刻検索システム提供 ・バスケーションシステムの提供 ・コンテンツプロバイダへのデータ提供 ・豊田市ガイドブック、みちなびとよたに掲載 ・観光シーズンにバス停案内や告知の掲示	A	目標：110,524 実績：112,166 達成率：101.5%	53.1	44.0	3.8	11.7	38.2	41.4	両地区を跨ぐ利用者の内訳は、通勤13.5%、通学32.4%、高齢者74.7%10.8%、定期外43.2%となっており定期外の比率が高い。豊田市駅の利用者、中心市街地への通院・買物のための利用者が大部分と考えられる。市町村を跨いでの利用者は20%程度で、郊外から豊田市中心部への移動手段として重要な役割を果たしている。また足助地区への通学利用や、香嵐渓への観光目的の利用も多い。	・HP、スマホでの時刻検索 ・バスケーションシステムの提供 ・コンテンツプロバイダへのデータ提供 ・高齢者用定期券の積極的なPR ・豊田市バスマップの掲載 ・みちなびとよたへの掲載 ・沿線観光資源と連携した利用促進策の検討
10豊田	豊田市	名鉄バス(株)	16	おいでんバス(旭・豊田線)	小渡～広瀬～豊田市	・交通系ICカードデータによる利用実態の把握 ・沿線やなでの飲み物サービス ・各種イベントへの参加 ・バス情報のGTFS化の継続 ・高齢者定期券の導入 ・バスの乗り方教室の実施 ・コミュニケーション研修によるサービス向上	A	目標：64,811 実績：80,446 達成率：124.1%	27.2	28.3	2.6	11.0	17.6	17.9	旧市町村域を跨ぐ利用者は全体の1割程度にとどまったものの、一定の割合で郊外から中心部への通勤・通学手段として利用されている。	・沿線「やなで」の飲み物サービスの実施 ・高齢者定期券の販売促進 ・一日乗車券の導入検討
10豊田	豊田市	名鉄バス(株)	17	おいでんバス(小原・豊田線)	上仁木～西中山～豊田市	・交通系ICカードデータによる利用実態の把握 ・各種イベントへの参加 ・バス情報のGTFS化の継続 ・高齢者定期券の導入 ・バスの乗り方教室の実施 ・コミュニケーション研修によるサービス向上	A	目標：131,606 実績：157,909 達成率：120.0%	63.8	59.3	5.3	11.6	32.6	33.5	旧市町村を跨ぐ利用者は全体の1割以下にとどまっているものの、一定の割合で郊外から中心部への通勤・通学手段として利用されている。	・観光資源と連携した利用促進策の検討 ・高齢者定期券の販売促進 ・一日乗車券の導入検討 ・鉄道駅への接続(要環境評価) ・四郷地区区画整理に対応した経路の検討
10豊田	豊田市	名鉄バス(株)	18	おいでんバス(藤岡・豊田線)(西中山経由)	藤岡中学校前～豊田市	・交通系ICカードデータによる利用実態の把握 ・各種イベントへの参加 ・バス情報のGTFS化の継続 ・高齢者定期券の導入 ・バスの乗り方教室の実施 ・コミュニケーション研修によるサービス向上	A	目標：77,612 実績：101,216 達成率：130.4%	30.4	43.3	5.7	7.6	42.3	45.4	旧市町村を跨ぐ利用者は、昨年度とほとんど変わらず約7割と高い割合を確保しており、郊外から中心部への通勤・通学手段として重要な役割を果たしている。	・鉄道駅への接続(要環境評価) ・四郷地区区画整理に対応した経路の検討 ・イベントに合わせ周知や利用促進策の検討 ・高齢者定期券の普及

交通圏	①補助対象事業者等		②事業概要		③前回（又は類似事業）の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況						⑥複数市町村を跨ぐ系統/幹線系統としての役割	⑦事業の今後の改善点 (特記事項を含む)	
	運営主体	運行事業者	No.、系統名	運行区間			【計画目標指標：利用者数】 A：達成 B：未達成 C：目標の半数にも満たず	輸送量(人)			収支率(%)				
								R4計画	R4実績	平均乗車密度	運行回数	R3実績			R4実績
10豊田	豊田市	豊栄交通(株)	49 おいでんバス (藤岡・豊田線) (加納経由)	藤岡支所 ～ 豊田市	・交通系ICカードデータによる利用実態把握 ・各種イベントへの参加 ・バス情報のGTFS化の継続 ・高齢者定期券の導入 ・バスの乗り方教室の実施 ・コミュニケーション研修によるサービス向上	A 補助対象期間の開始日から、運休や大幅な遅れもなく、所定の事業計画どおりの運行が実施されている。	A 目標：67,847 実績：82,754 達成率：122.0% 新型コロナウイルスの収束・ワクチン接種率の上昇に伴い、移動が活発になったため。	35.0	36.9	3.3	11.3	37.8	31.4	市町村(含伊以前)を跨いでの利用者は全体の約4割であり、市郊外から市中心部への通勤・通学手段として利用されていることがわかる。また、昼間時においても、市郊外から市中心部への利用が一定数みられ、生活交通として重要な役割を果たしている。	・観光資源と連携した利用促進策の検討 ・高齢者定期券の普及
10豊田	豊田市	豊栄交通(株)	50 おいでんバス (下山・豊田線)	大沼 ～ 鶺鴒瀬 ～ 豊田市	・交通系ICカードデータによる利用実態把握 ・利用実態に合わせたダイヤ改正の検討 ・各種イベントへの参加 ・バス情報のGTFS化の継続実施 ・高齢者定期券の導入 ・バスの乗り方教室の実施 ・コミュニケーション研修によるサービス向上	A 補助対象期間の開始日から、運休や大幅な遅れもなく、所定の事業計画どおりの運行が実施されている。	B 目標：139,429 実績：129,972 達成率：93.2% 移動制限の緩和により回復傾向にあるが、目標達成には至っていない。	61.4	73.0	6.3	11.6	35.5	54.8	地域を跨いでの利用者は、昨年度より増加して約3割程度であり、中山間地域から市中心部への通勤・通学手段として重要な役割を果たしている。	・1日乗車券の販売を検討 ・イベントでの周知活動や利用促進策を検討
10豊田	豊田市	豊栄交通(株)	51 おいでんバス (さなげ・足助線)	豊田厚生病院 ～ 百年草	・交通系ICカードデータによる利用実態把握 ・利用実態に合わせたダイヤ改正の検討 ・各種イベントへの参加 ・広瀬やなどのドリンクサービス ・バス情報のGTFS化の継続実施 ・高齢者定期券の導入 ・バスの乗り方教室の実施 ・コミュニケーション研修によるサービス向上	A 補助対象期間の開始日から、運休や大幅な遅れもなく、所定の事業計画どおりの運行が実施されている。	A 目標：143,055 実績：159,084 達成率：111.2% 新型コロナウイルスの収束・ワクチン接種率の上昇に伴い、移動が活発になったため。	57.0	68.0	4.2	16.2	37.8	34.6	地域を跨いでの利用者の割合が1/4程度にとどまっていた昨年度と比べ、今年度は約1/3までに増加しており、中山間地域からの通勤・通学手段以外にも、鉄道駅と観光地を結ぶ路線として、重要な役割を果たしている。	・高齢者定期券の販売促進 ・一日乗車券の導入検討
10豊田	みよし市	愛知っばめ交通(株)	58 さんさんバス (拠点連携線)	豊田厚生病院 ～ みよし市民病院	・待合環境の整備 ・バス乗り方教室を開催 ・キャッシュレス決済(PayPay)の導入 ・豊田市バスマップに時刻表掲載 ・豊田厚生病院内の情報案内板に時刻表を掲示	A 補助対象期間の開始日から、台風の影響による一部運休はあったものの、大幅な遅延もなく、所定の事業計画どおりの運行ができています。	B 目標：124,897 実績：117,850 達成率：94.4% 路線再編に伴うバス停車数の減少や新しい生活様式の定着等によるため。	56.3	36.8	2.3	16.0	16.8	10.9	市域を跨いでの利用が利用者全体の約1割強を占め、みよし市内から豊田厚生病院への通院及び浄水駅利用者が大部分と考えられる。また、浄水駅からみよし市内の商業施設等への利用もあり、広域的な路線の役割を果たしている。	・待合環境の整備 ・豊田市バスマップへの掲載 ・豊田厚生病院内に路線情報を掲示
10豊田	みよし市	愛知っばめ交通(株)	59 さんさんバス (三好黒笹線)	黒笹駅 ～ イオン三好 アイ・モール	・待合環境の整備 ・バス乗り方教室を開催 ・キャッシュレス決済(PayPay)の導入 ・豊田市バスマップに時刻表掲載 ・豊田厚生病院内の情報案内板に時刻表を掲示	A 補助対象期間の開始日から、台風の影響による一部運休はあったものの、大幅な遅延もなく、所定の事業計画どおりの運行ができています。	A 目標：103,746 実績：117,071 達成率：112.8% 路線再編に伴う路線変更及び運行回数の増加のため。	60.9	46.5	3.1	15.0	14.0	12.8	市域を跨いでの利用が利用者全体の約1割強を占め、みよし市内から豊田厚生病院への通院及び浄水駅利用者が大部分と考えられる。また、浄水駅からみよし市内の商業施設等への利用もあり、広域的な路線の役割を果たしている。	・待合環境の整備 ・豊田市バスマップへの掲載 ・豊田厚生病院内に路線情報を掲示
09刈谷・安城・碧南・西尾 10豊田	豊田市	高岡ふれあいバス	60 高岡ふれあいバス (路線②)	上丘町 ～ 高岡公園 ～ 知立駅	・前林地域での学生定期券購入補助継続実施 ・利便性向上に向けたダイヤ改正の実施 ・走行経路の検討 ・高齢者に対する回数券購入補助の実施	A 補助対象期間の開始日から、運休や大幅な遅れもなく、所定の事業計画どおりの運行が実施されている。	A 目標：73,213 実績：87,328 達成率：119.3% 新型コロナウイルスの収束・ワクチン接種率の上昇に伴い、移動が活発になったため。	31.6	31.9	2.2	14.4	24.3	24.6	市町村を跨いでの利用者が93.3%と非常に高い割合となっていることから、生活に欠かせない幹線系統としての役割を果たしている。	・利用目的・時間に応じた走行経路の検討 ・専門家への相談の実施 ・住民アンケートの実施 ・実証実験の実施 ・知立市ミニバスとの乗り継ぎ連携 ・乗り継ぎモデルコースの作成
11新城	豊鉄バス(株)	豊鉄バス(株)	27 作手	新城富永 ～ 作手高里	・バスマップの発行、全戸配布 ・通学利用の高校生のため増便を実施 ・デマンド型区域運行バスへの乗り継ぎ案内 ・高校生への満足度調査を実施	A 新型コロナウイルス感染症の影響により乗務員の確保が困難となったため、令和4年8月の平日を土休日ダイヤにて運行したが、それ以外には、補助対象期間の開始日からやむを得ない場合を除き、運休や大幅な遅延もなく、所定の事業計画どおりの運行が実施されている。	B 目標：49,772 実績：48,791 達成率：98.0% 沿線高校の学生数の減少により定期利用者は減少したが、定期外利用者は、移動制限が緩和され回復傾向にある。	23.7	18.6	3.1	6.0	69.3	64.0	旧市町村を跨いでの利用が利用者のほぼすべてを占め、広域的な路線の役割を果たしている。利用者は、沿線高校への通学利用や新城市民病院への通院、新城駅への鉄道利用が大部分と考えられる。	・バスロケーションシステムのPR ・デマンドバスも用いた観光プランの周知 ・作手地区内の住民へのPR

交通圏	①補助対象事業者等		②事業概要		③前回（又は類似事業）の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況						⑥複数市町村を跨ぐ系統/幹線系統としての役割	⑦事業の今後の改善点 (特記事項を含む)		
	運営主体	運行事業者	No.、系統名	運行区間			【計画目標指標：利用者数】 A：達成 B：未達成 C：目標の半数にも満たず	輸送量(人)			収支率(%)					
								R4計画	R4実績	平均乗車密度	運行回数	R3実績			R4実績	
11新城	豊鉄バス(株)	豊鉄バス(株)	28 新城病院 上平井田口	新城市民病院 ～ 田口	A	<p>・観光地のPRを兼ねたチラシを作成・配布</p> <p>・夏休み小学生50人バスの実施</p> <p>・東三河バス整理券列-＆謎解きゲームを実施</p> <p>・利用者の状況によりマイバス時刻表を作成</p> <p>・観光企画切符を長久手市や名古屋市内で販売</p> <p>・関係者間で利用促進策について検討</p> <p>・総合時刻表を田口BT、役場窓口で配布</p> <p>・町民に対し田口高校へのバス通学費全額補助</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により乗務員の確保が困難となったため、令和4年8月の平日を土休日ダイヤにて運行したが、それ以外は、補助対象期間の開始日からやむを得ない場合を除き、運休や大幅な遅延もなく、所定の事業計画どおりの運行が実施されている。</p>	<p>目標：28,964</p> <p>実績：32,084</p> <p>達成率：110.8%</p>	15.8	12.4	1.6	7.8	35.1	21.6	<p>旧市町村を跨いでの利用が利用者の半数以上を占め、広域的な路線の役割を果たしている。利用者は、沿線高校への通学利用や新城市民病院への通院、本長篠駅への快速利用が大部分と考えられるほか、JR本長篠駅での乗り継ぎによる豊川市方面の高校へ通学利用もある。</p>	<p>・バスロケーションシステムのPR</p> <p>・高速バスと連携した旅行プランの作成</p> <p>・道の駅したらへの交通手段としての周知</p> <p>・イベントでの公共交通のPR</p> <p>・田口高校への進学利用促進策の検討</p> <p>・観光施設への誘客</p>
01名古屋 05瀬戸・日進・豊明 11新城	豊鉄バス(株)	豊鉄バス(株)	36 新城名古屋 藤が丘線	新城市民病院西 ～ 長久手古戦場駅	A	<p>・道の駅もつくる新城（正面）に乗り入れ</p> <p>・ダイヤ改正を実施、回数券の発売</p> <p>・行楽シーズンにあわせた新聞広告を掲載</p> <p>・記入者用冊子へ交通エコライフの記事掲載</p> <p>・新城市運賃助成キャンペーンの実施</p> <p>・藤が丘商店街イベントでのPR</p> <p>・回数券の販売所の増設</p> <p>・バスマップへの掲載、市広報での特集</p> <p>・観光目的の企画切符の継続販売</p>	<p>補助対象期間の開始日から、やむを得ない場合を除き、運休や大幅な遅延もなく、所定の事業計画どおりの運行が実施されている。</p>	<p>目標：7,650</p> <p>実績：15,662</p> <p>達成率：204.7%</p>	21.3	16.2	5.6	2.9	21.8	36.0	<p>高速乗合バスとして新城市と名古屋及び長久手市を結ぶ路線で、すべての利用者が市を跨ぐ利用しており広域的な路線の役割を果たしており、新城市から名古屋への通勤・通学や名古屋圏から新城市への観光に利用されている。新城市と名古屋、長久手市を結ぶ路線として、通勤、通学、通院、買い物などの生活に必要不可欠な移動手段になっている。</p>	<p>・ジブリパークへの移動手段として周知</p> <p>・交通エコライフの取組推進</p> <p>・定期券の導入を検討</p> <p>・観光施設と連携した企画切符の発売検討</p> <p>・沿線市等と連携した路線の最適化</p> <p>・イベント等での周知</p>

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和5年1月31日

協議会名：	愛知県バス対策協議会
評価対象事業名：	陸上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業（地域間幹線系統）
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	鉄軌道網の整備が進み基幹的公共交通網は維持されているが、自動車分担率が高い地域であることを踏まえた上で、複数市町村を跨ぐ広域的・幹線的な公共交通網の維持・確保を図る。 実施に当たっては、乗合バス事業者等運営主体と沿線市町村が協力して目標設定、利用促進、利便性・生産性向上検討を行い、事業評価にあたっては、運営主体、沿線市町村が情報交換、意見交換を行って、路線の状況を共有化。